

# よりそう

Side by Side



第184号

編集責任：  
仁和淨智

編集担当者  
仁和・山田

6月24日(日)

## 「芝生植える！全員集合〜」

東日本大震災で被災した岩手県陸前高田市の長部小学校の臨時校庭で、24日近隣の中学生やボランティアなど約300人が、芝生のポット苗4万株を植えた。



同市では小学校や中学校の校庭に仮設住宅が建てられ、運動環境の悪化が深刻な問題となっている。子供たちや地域の人々が運動できる場所を確保しようと、日本サッカー協会(以下、JFA)が震災復興支援事業の一環として行った。

発起人はJFAの復興支援特任コーチを務める加藤久さんだ。加藤さんは宮城県利府町出身。震災後、大きな被害を受けた被災地の沿岸部を巡った。そこで限られた狭い場所で工夫をしながら運動している子供たちを見て、心苦しくなったのだという。JFAのほか、地権者や小学校や地域の人々の思いが一体となり、今回のポット苗事業が実現した。

陸前高田の子どもたちとJFAが支援!!!



この日は全国各地から集まったボランティアのほか、同市第一中学校の生徒など計300人が、約3時間かけて芝生のポット苗を植えた。順調に発育すれば、2か月後の8月末には一面みどりの芝生の校庭が完成する予定だ。

加藤さんは、「芝生のグラウンドを利用し、サッカーや野球など子供たちと地元の人達が思う存分体を動かしてほしい」と話した。

JFAは、昨年3月29日に行われたチャリティーマッチを皮切りに、震災復興支援事業を進めている。今月21



日に開催されるJリーグスペシャルマッチは、被災地で放課後にスポーツがしやすいように被災地へ簡易照明機が寄贈される予定だという。

7/6(金) 天気：曇後雨  
気温：25℃/18℃  
降水確率：30%

まごころ種 募集

くわしくはHPへ

7/6(金)ボランティアミーティングはPM5:10〜男子宿泊棟  
7/4(水)の宿泊：48人、活動：58